

# Newsletter

映画英語教育学会 九州支部  
The Kyushu Chapter of  
the Association for Teaching English  
through Movies (ATEM)

創刊号

2004(平成16)年9月1日

映画英語教育学会 九州支部事務局発行

〒819-0013 福岡市西区愛宕浜 3-2-2

福岡市立 福岡女子高等学校国際教養科 (高瀬文広)

TEL: 092-881-7344 FAX: 092-883-4227

E-mail: kyushu\_office@atem.org

編集: 與古光 宏・中島千春・多賀亜紀

## Contents

page 1 九州支部ニューズレター刊行に際して

page 3 第10回全国大会案内・第6回支部大会案内・会計報告

page 2 2003年度活動報告・映画のトリビア

page 4 第6回支部大会発表者募集・映画ショッキング・役員紹介

## 九州支部ニューズレター刊行に際して

映画英語教育学会 九州支部支部長  
八尋 春海 (西南女学院大学)

このたび、3人の編集委員の尽力により、このニューズレターを刊行することができました。思えば、映画英語教育学会の九州支部が発足して、もう5年が経過しました。この短い間に支部主催で2回も全国大会を誘致し、これまで5回の支部大会を実施してきました。加えて、支部会員数も順調に増えておりますし、支部運営委員を中心として執筆したテキスト(『映画が語る現代社会』金星堂)などの印税の寄付のおかげもあって、九州支部の財政は他の支部よりも格段に潤っています。参考までに、支部会員が中心となった著書は、英語テキスト8冊(プラス進行中が3冊)、研究書5冊(プラス進行中が1冊)、翻訳書5冊(プラス進行中が1冊)となっています。支部大会や出版企画にこれまでに参加されていない方もぜひ、お気軽に参加していただければと思っております。

以上のように、支部を取り巻く状況(詳しい情報は\*ホームページで)は、明るいものばかりとなっていますが、これでもまだ発展途上です。具体的には、さらなる会員の拡大(できれば今の会員数の倍)、他支部との連携(支部大会や出版企画の共同実施)、各会員の活躍(希望通りの就職や転職、業績のアップ)、そして支部会員と運営委員との情報交換という課題もあります。

ニューズレターは、この支部会員と運営委員との情報交換を促すことを目的として刊行しました。噛み砕いて言えば、九州支部の状況がまだよく分からないと思われる方の数を減らそうと考えています。九州支部は、発足以来、映画英語教育学会の中でも稀に見る仲の良さを誇りにしてきました。それはこれからも大切にしたいと思っていますし、このニューズレターがその大きな手助けになるものと期待しています。

ニューズレターや支部の運営にアイデアのある方、支部大会や出版企画に参加したい方は、ぜひご連絡をいただければと思っております。最後になりましたが、このニューズレターの刊行で手間のかかる細かな作業をしていただいた中島先生、多賀先生、與古光先生、また支部のホームページ作成で尽力していただいた横溝先生にこの場を借りて御礼申し上げます。

### \*九州支部ホームページのご案内

2004年4月1日より、横溝先生が作成された九州支部のホームページが一般の皆様にもご利用いただけるようになりました。

アドレスは:

<http://www.atem.org/kyushu/index.htm>

です。九州支部の沿革、活動内容などが最新ニュースと共にご覧になれます。

## 活動報告

### ■ 平成 15(2003)年度 ATEM 活動報告

九州支部は、支部大会と懇親会を中心に活動を行っていますが、昨年度は当支部にとって特にあわただしい年でした。ATEM の全国大会や九州支部の HP 開設の準備等、様々なことがあったからです。全国大会を 4 年前に中村学園大学で行って、今回 2 回目の全国大会を西南女学院大学で開催したこと、九州支部から『Every Movie Tells a Story (映画が語る現代社会)』という映画を利用したテキストを金星堂から出版し、その売り上げの約半分を支部会計に入れる等。また、日本比較文化学会の支部大会と当支部大会とのジョイント大会を開いたこと等が挙げられるでしょう。詳細は下記の通りです。

#### (1) STEM 大会での研究発表

(2003 年 4 月 26 日、於 Kyung Hee Univ. Suwon) 韓国)

九州支部から初めて ATEM の姉妹学会である韓国の「映像英語教育学会」(STEM) の研究大会へ研究者の派遣を行いました。

##### 第 1 号

発表者：高瀬文広

(発表時 福岡高等学校；現在 福岡女子高等学校)

テーマ：A Study of Developing Movie-based English Textbooks for English Education

本年度は、秋好礼子先生と津田晶子先生が STEM 大会での発表を行いました。STEM は昨年からは毎年 4 月の最終土曜日に全国大会を開催することに決まっています。もちろん、来年も 4 月 30 日にソウルの東方の都市で開催予定です。日時は決まっていますが、場所は未定です。決まり次第ご連絡します。

#### (2) ATEM の全国大会

九州支部にて開催

(2003 年 6 月 28 日(土)、於西南女学院大学)

#### (3) 会員間の交流会&懇親会

2003 年 7 月 30 日(水)、於ホテルオークラ 地ビールレストラン『オークラブルワリー』

#### (4) 第 5 回支部大会

2003 年 11 月 9 日 於中村学園大学

午前中 (10 時～12 時)：

映画英語教育学会九州支部大会

午後 (13 時～16 時)：

日本比較文化学会の九州支部大会

大会終了後：懇親会を両支部合同で実施

#### (5) 支部会員を中心とした執筆活動

主な執筆は下記のものがある：

1) 『Every Movie Tells a Story (映画が語る現代社会)』 2003 年 1 月 20 日 金星堂

2) 『映画英語教育論』  
2003 年 3 月 31 日 スクリーンプレイ

3) 『Enjoy! スクリーン・イングリッシュ』  
2003 年 4 月 1 日 海鳥社 等  
(報告:事務局長 高瀬文広)

### ♪♪映画のトリビア vol. 01♪♪ ～「ターザン」は金メダリスト～

アテネオリンピックでの、日本人選手の連日のメダルラッシュに、毎朝目にする新聞やテレビも大いに沸き返っていましたね。ところで、映画でヒーローを演じる前は、オリンピック金メダリストだったという、異色の経歴を持つ俳優がいたことを、ご存知でしょうか？

その俳優の名は、ジョニー・ワイズミュラー (1904-84)。現在のルーマニアに生まれ、3 歳でアメリカに移住。病弱な少年時代に、医師の勧めで水泳を始め、後に 191 センチもの巨漢に成長したとか。記録によると、1924 年(パリ)と 1928 年(アムステルダム)の 2 大会で、計 5 つの金メダルを獲得。さらに、1921～29 年の間には、エントリーした水泳種目全てに優勝するという驚異的な快挙の持ち主でした。その後、1929 年にパラマウントのミュージカル映画で端役デビューした後、MGM に招かれ、6 代目のジャングルの王者「ターザン」として颯爽と登場、あの有名な雄叫びの創始者として名を残したのです。因みに、ターザンを演じた俳優は延べ 13 人もいたとか。

今年は、奇しくもワイズミュラーの生誕 100 年、没後 20 年という記念の年。そんな時に開催されたアテネオリンピックで、日本は北島康介選手らが活躍。往年の水と森の王者・ワイズミュラーも、きっと天国から拍手して観戦していたことでしょう。

(與古光 宏)

( \* 参考資料 : 『The Internet Movie Database』

<http://us.imdb.com/>)

## 第 10 回全国大会のご案内

本部事務局から 8 月にニューズレターが送られてきたので、全国大会の詳細についてはご存じかと思えます。今回は関西支部が昨年度設立されたこともあり、第 10 回全国大会を京都外国語大学で開催します。時は、アメリカで起きたテロの日と同じ、9 月 11 日です。大会テーマは「映画で学ぶ英語と文化」です。STEM から 12 名の研究者が参加予定です。第 10 回の記念大会ということで、記念講演を NHK 教育テレビ『いまから出直し英語塾』で有名な大杉正明先生をお迎えしております。皆様のご参加をお待ちしております。(文責:事務局長 高瀬文広)

## 第 6 回支部大会の案内

本支部大会を下記の要領で開催致します。皆様のご参加と研究発表の募集を行います。皆様奮ってご参加頂きますよう、お願い申し上げます。

(1)日時:平成 16 年 10 月 2 日 13:00~17:30

(2)場所:久留米大学 御井キャンパス

福岡県久留米市御井町 1635

500 号館 (512 教室 と 521 教室)

□交通アクセス:

- ・西鉄電車をご利用の場合  
「西鉄久留米駅」下車 → 西鉄バス系統番号 1, 8, 9 に乗車 → 「朝妻」又は「久留米大学前」で下車後徒歩約 2 分
- ・JR をご利用の場合  
「JR 久留米大学前駅」で下車後徒歩約 3 分

(3)プログラム (今後変更の可能性あり)

- ・ 13:30 ~14:00 : ジュリアン・ウォレン氏  
(オックスフォード・ユニバーシティ・プレス) によるプレゼンテーション
- ・ 14:00 ~16:00 : 研究発表
- ・ 16:00 ~16:30 : 映画オタクコンテスト
- ・ 業者によるプレゼンテーション
- ・ 17:30 ~20:00 : 懇親会 (久留米市内で)  
(文責:事務局長 高瀬文広)

## 会計報告

■平成 15(2003)年度 ATEM 九州支部会計報告  
収支決算書 2003 年 1/1~12/31 までの分

	収入	備考
前年度繰越金	151,026	
本部事務局補助金	50,000	「映画英語教育論」4冊
書籍売り上げ代	4,000	執筆料支払い後の残金 (16名)
印税 (「映画が語る現代社会」)	67,610	
<b>収入合計</b>	<b>272,636</b>	

	支出	備考
STEM 歓迎費	27,540	
STEM 出迎え交通費	5,960	秋好、高瀬
大会お弁当代	7,000	
会議費 (お茶代など)	2,884	
通信費	2,480	31 通分
支部のゴム印代	1,260	
支部大会受付 アルバイト代	6,000	3,000 円 × 2 名
<b>支出合計</b>	<b>53,124</b>	

**収入合計 - 支出合計 = 219,512 円 次年度繰越へ**

映画英語教育学会本務事務局での予算年度は、1 月 1 日~12 月 31 日になっているので、本支部の会計年度もこれに倣っています。上記の平成 15 年度の収支決算書は、本年 3 月 6 日の支部運営委員会にかけられ、承認されたものです。

(報告:事務局長 高瀬文広)

## 第6回支部大会発表者の募集

本大会での研究発表者を募集します。下記の要領で応募ください。

### ◆研究発表内容：

映画を利用した研究発表や実践報告

### ◆発表時間：

研究発表(20分) + 質疑応答 (10分)

### ◆使用言語：日本語 or 英語

### ◆応募要領：

下記の内容を **9月26日(日)**までに、高瀬まで ([kyushu\\_office@atem.org](mailto:kyushu_office@atem.org)) お送りください。

※できれば、E-mailでお送りください。

尚、何らかの事情で遅れる場合はご連絡ください。

- ①発表者氏名 (ふりがな付き)
- ②発表者の所属と職名
- ③発表テーマ
- ④発表内容の概要 (200字程度)
- ⑤発表者のEメールアドレス
- ⑥発表者の住所と電話番号
- ⑦使用言語
- ⑧使用予定の機器  
(パワーポイント、VHS等を明示すること)

### <応募先>

映画英語教育学会 九州支部事務局

事務局長 高瀬文広

E-mail: [kyushu\\_office@atem.org](mailto:kyushu_office@atem.org)

郵送またはFAXの場合は、

福岡市立福岡女子高等学校 国際教養科  
高瀬文広

〒819-0013 福岡市西区愛宕浜3丁目2-2

電話 092-881-7344

FAX 092-883-4227

## 役員紹介

支部長	八尋 春海	(西南女学院大学)
副支部長	中谷 安男	(中村学園大学)
事務局長	高瀬 文広	(福岡市立 福岡女子高等学校)
会計監査	八尋 真由実	(北九州市立大学<非>)
"	飯田 一郎	(西南女学院大学)
ホームページ	横溝 彰彦	(久留米大学<非>)
運営委員	秋好 礼子	(福岡医療短期大学)
"	大木 正明	(大分工業高等専門学校)
"	浦田 毅彦	(長丘中学校)
"	高木 仁美	(福岡大学<非>)
"	多賀 亜紀	(西南学院大学<非>)
"	時枝 千富美	(佐賀大学<非>)
"	中島 千春	(西南学院大学)
"	與古光 宏	(九州産業大学<非>)

\* <非>…非常勤

### 編集後記

このたび、ATEM九州支部ニューズレターの編集という栄えある役目を仰せつかった與古光(よこみつ)、中島、多賀です。ふたご座&O型の與古光は、笑って元気になる為に映画を観ると言っても過言でないほどの無類のコメディ映画好き。うお座&A型の中島は、ラブコメ映画派。おとめ座&AB型の多賀は、20数年のシャーロキアンで、推理映画党。このように、星座も血液型も映画の好みも全く異なる3人ですが、與古光編集長を先頭に力を合わせて、会員の皆さんに役立つと同時に楽しんでいただけるようなニューズレターにしたいと思っています。皆さんのところへも原稿依頼が無い込むことがあるかと思いますが、どうぞご協力のほどよろしく願いいたします。また、ニューズレターに関する、ご意見・ご感想等もぜひお寄せください。(宛先: [yok31783@hotmail.com](mailto:yok31783@hotmail.com))

文責: 多賀亜紀

### \* 映画、忘れられないあのシーン\* *Heaven Can Wait* 『天国から来たチャンピオン』(1978年、米)

有望なアメフト選手の主人公ジョー(ウォーレン・ビーティ)が、天使のミスで、他人の肉体を借りて残りの人生を生きることになるというラブコメディ。当時100円で何度も見ることの出来たセンターシネマ(今のソラリアホテル)で見たのが20数年前。今も思い出すのが、胸キュンのラストシーン。ジョーはそれまでの記憶を消され、別人のQB、トムとして念願のゲームに出場。試合後、ロッカーへと向かう暗い廊下で、リオとして生きていた頃の恋人ベティに出会う。トムとして会うのは初めてのはずなのに、二人の間で何かが閃く。“Have we met?” W・ビーティのあの言葉、あの表情にもう一度会いたくて、シネマの薄暗い部屋にもう2時間留まる私。ああ、若かった! 中島千春 (このコーナーでは、会員の方にお好みのテーマで映画について語っていただきます。次回は高瀬さん、よろしく!)